



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 409. 2016. 5. 1.

放射2号線など必要ない道路に 不正な税金投入やめよ

国交省交渉で怒り爆発

① 特定整備路線の事業費は総額3500億円。国の社会資本整備総合交付金の名目で、自治体が整備計画を作り申請を行うと一括交付される。都は「高度な防災都市を構築し地域の暮らしを支える安全・安心な道路の整備」という整備計画を申請。738もの事業の中に28路線が含まれるが、国は一つ一つの事業内容には触れず、ひとまとめにして判を押し税金を交付。住民から4262件もの不服審査請求が出されていても内容には全く触れないことが明らかに。

宮本議員立会いで明らかにしたこと

都の申請にノーチェックで税金を出す仕組みはおかしい！



都内28本の都市計画道路特定整備路線では地元住民による反対運動が広がっています。2月25日共産党宮本徹衆議院議員の質問で、都が必要な書類を出さないまま国交省がノーチェックで税金を交付していたことが明らかになりました。4月7日住民の方々と衆議院会館で国交省交渉を行いました。

会発 民つ所もと
連絡 北、住合力
都交 橋、ど住
全流 板井な取
路線 谷、小連
整備 田、谷、小、連
問題 谷、小、連
など 田、谷、小、連

「意見を聞かれる場合もなぐ合意形成されていない。事業認可は無効」「70年前の計画、現状を無視して進める道路に、戸越、十条などの商店街やまちが壊される」「住民や星薬科大学の意向を無視し一方的かつ強引に進める道路は許されない」と怒りの発言が次々。

参加者の発言

② 会計検査院から指摘されている「事前評価書」が未提出。つまり事前評価に必要な「地元の機運」「環境整備」「住民への事前評価結果公開」も行わないまま税金交付。宮本議員は「手続きに瑕疵は明確、予算は凍結し再検討を」と強く求めました。



道路の運動が力に 災害予防対策前進

① 感震ブレイカー設置助成：木造住宅対象に、新築は1万円、既存は費用の3分の2、上限5万円を助成

② 建替え助成
新築建替え助成と引越し費用などの助成

地域からの要望、「防災」というならば、道路ではなく、倒れない燃えない木造家屋の耐震化と不燃化を、感震ブレイカー設置で通電火災の防止を訴え続けてきた成果です。何よりも災害が起る前の予防対策が重要です。

この助成は残念ながら区の1割の面積である「不燃化特区内」に限られています。区内全域に広げるために頑張ります。

特養ホーム・老健施設 の増設も実現

① 平塚橋特養ホーム
100人定員、今年5月開設

② 上大崎に特養ホーム
102人定員、2017年開設

③ 北品川に老健施設
80人定員、2018年開設

議会への請願署名が大
きな力となりました。

恒例のバザーに来てください！

2016年5月22日（日）（雨天5月29日順延）

午前10時から午後2時まで

いいぬま雅子事務所にて（小山2-16-1）

衣類・雑貨・おもちゃ・食器・靴・バックなどたくさんの品物がお待ちしています。ご家庭で眠っている品物や不要になった品物を地域でリサイクルいたしましょう。

主催：いいぬま雅子事務所バザー実行委員会
連絡：3787-5425



2000万人署名禁止！
署名法は絶対禁止！



無料法律相談
5月20日（金）6月10日（金）
17時30分から19時30分
いいぬま雅子事務所にて
お気軽にご相談を 主催：品川地区委員会